

教科 科目名	国語	単位数(週あたりの授業時数)		2 単位
	古典探究	履修学年(類型)	2 学年	普通・MS
教科書名(出版社名)		古典探究(数研出版)		

●学習到達目標

古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5月	古文(説話)	1年次の文法事項を復習し、説話のおもしろさを読み取るとともに、場面をとらえ、登場人物の言動や心情を理解する。
	6・7月	漢文(故事)	漢文の特色を深く知り、訓読のきまりを復習するとともに、格言や故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解力を身につける。
2	9月	古文(随筆)	随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉えるとともに、作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方や感じ方、考え方を深める。
	10月	漢文(思想)	各思想家の論の展開の巧みさに触れ、それぞれの主張の基本的な考え方を理解する。
	11月	古文(歴史物語)	歴史物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉えるとともに、当時の時代背景についての見識を広げ、行動や心情を理解する。
	12月	漢文(思想)	各思想家の論の展開の巧みさに触れ、それぞれの主張の基本的な考え方を理解する。
3	1月	古文(物語)	物語の内容を踏まえて登場人物の心情を捉えるとともに、作者の観察力と内省的な精神構造を理解する。
	2・3月	漢文(史伝)	句法に注意しながら、話の展開や登場人物の言動を読み取り、史伝のおもしろさを味わうとともに、歴史物語についての理解を深める。

●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	知識を問う問題にほぼ解答できる 身につけた知識を応用できる	本文の内容をつかみ、根拠とともに説明している	自分の意見を整理して、論理的に伝えようとしている
B	基本的な発問に答えられる 基本的な知識を理解している	本文の内容を読み取っている	自分の意見をまとめようとしている
C	基本的な発問に答えられない 基本的な知識を理解していない	本文の内容を読み取っていない	自分の意見をまとめようとしていない
評価方法	定期考査 発問に対する答え	定期考査 発問に対する答え	授業や課題等に取り組む姿勢
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$